

2024年 6月 9日 中畷 哲演さんの主催者挨拶

13年前の福島やたった5か月前の能登半島の地震・津波の災禍があたかも無かったかのように、「国策民営」の原発推進勢力は息を吹き返し、暴走している。若狭の廃炉を免れた7基の原発群をすべて再稼働し、あまつさえ使用済み核燃料の乾式貯蔵施設や中間貯蔵施設の建設を画策、その延命を図ろうとしている。

「原子力村」は、原発立地地元・立地県議会や首長の事前了解や同意を得て、放射能まみれの原発マネーをばらまき、もの言えぬ強権支配を強めてきた。美浜・おおい・高浜町の年間歳費6割は原発関連収入で占められている。しかし、全国で約30地点の住民・自治体は、原発・核燃サイクル施設の建設を拒否してきた。かの珠洲市民は3度目の正直の市長選で10基の原発基地化を阻止した。若狭・小浜市もしかり。

東京都知事選で、暴走・亡国政権の現首相をきたる国政選挙で変えよう。地震も事故も待ったなし。原発だけでなく平和といのちとくらしに関わるあらゆる分野で、国民の我慢は限界に達している。「あとから来るもののために」決意を皆さんと分かち合いましょう。